

月報 平成 27 年(2015 年) 6 月

感染症発生動向調査事業において、滋賀県が指定した定点医療機関(指定届出機関)から報告される感染症を定点把握対象感染症と呼びます。それらの疾病のうち、性感染症定点 9 機関(産科婦科系 4 機関および泌尿器科若しくは皮膚科 5 機関)から報告される性感染症 4 疾病と基幹定点 7 機関(およそ患者を 300 人以上収容できる施設)から報告される薬剤耐性菌感染症 4 疾病の患者数は、月を調査単位として集計しています。

1. 平成 27 年 6 月の概要

(1) 性感染症

性器クラミジア感染症: 定点当たり報告数: 1.33(先月: 0.33)

性器ヘルペスウイルス感染症: 定点当たり報告数: 報告なし(先月: 0.33)

尖圭コンジローマ: 定点当たり報告数: 0.22(先月: 0.11)

淋菌感染症: 定点当たり報告数: 0.22(先月: 0.22)

(2) 薬剤耐性菌感染症

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌: 定点当たり報告数: 2.86(先月: 2.57)

ペニシリン耐性肺炎球菌: 定点当たり報告数: 0.14(先月: 0.14)

薬剤耐性緑膿菌感染症: 定点当たり報告数: 報告なし(先月: 報告なし)

2. 定点報告数および定点当たり報告数

《当月まで 1 年間の推移》

(1) 性感染症

疾病名	平成26年							平成27年				
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
性器クラミジア感染症	9	5	5	10	6	2	6	2	4	4	5	3
	1	0.56	0.56	1.11	0.67	0.22	0.67	0.22	0.44	0.44	0.56	0.33
性器ヘルペスウイルス感染症	4	3	1	0	2	0	3	3	6	1	2	3
	0.44	0.33	0.11	0	0.22	0	0.33	0.33	0.67	0.11	0.22	0.33
尖圭コンジローマ	4	1	4	1	2	3	2	3	1	3	7	1
	0.44	0.11	0.44	0.11	0.22	0.33	0.22	0.33	0.11	0.33	0.78	0.11
淋菌感染症	1	2	7	2	0	1	2	1	2	1	0	2
	0.11	0.22	0.78	0.22	0	0.11	0.22	0.11	0.22	0.11	0	0.22

上段: 報告数

下段: 定点当たり報告数

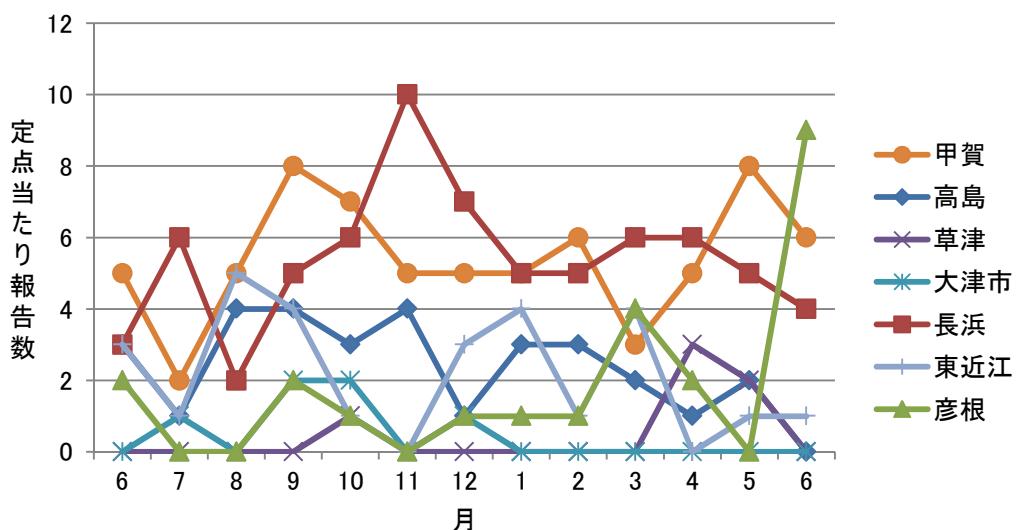
(2) 藥剤耐性菌感染症

疾病名	平成26年							平成27年					
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	16	11	16	25	19	19	18	18	16	19	17	18	20
	2.29	1.57	2.29	3.57	2.71	2.71	2.57	2.57	2.29	2.71	2.43	2.57	2.86
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1
	0	0	0	0.14	0	0	0	0	0	0	0.14	0.14	0.14
薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	0	0	0.14	0.14	0	0	0	0.14	0	0	0	0	0

上段：報告數

下段: 定点当たり報告数

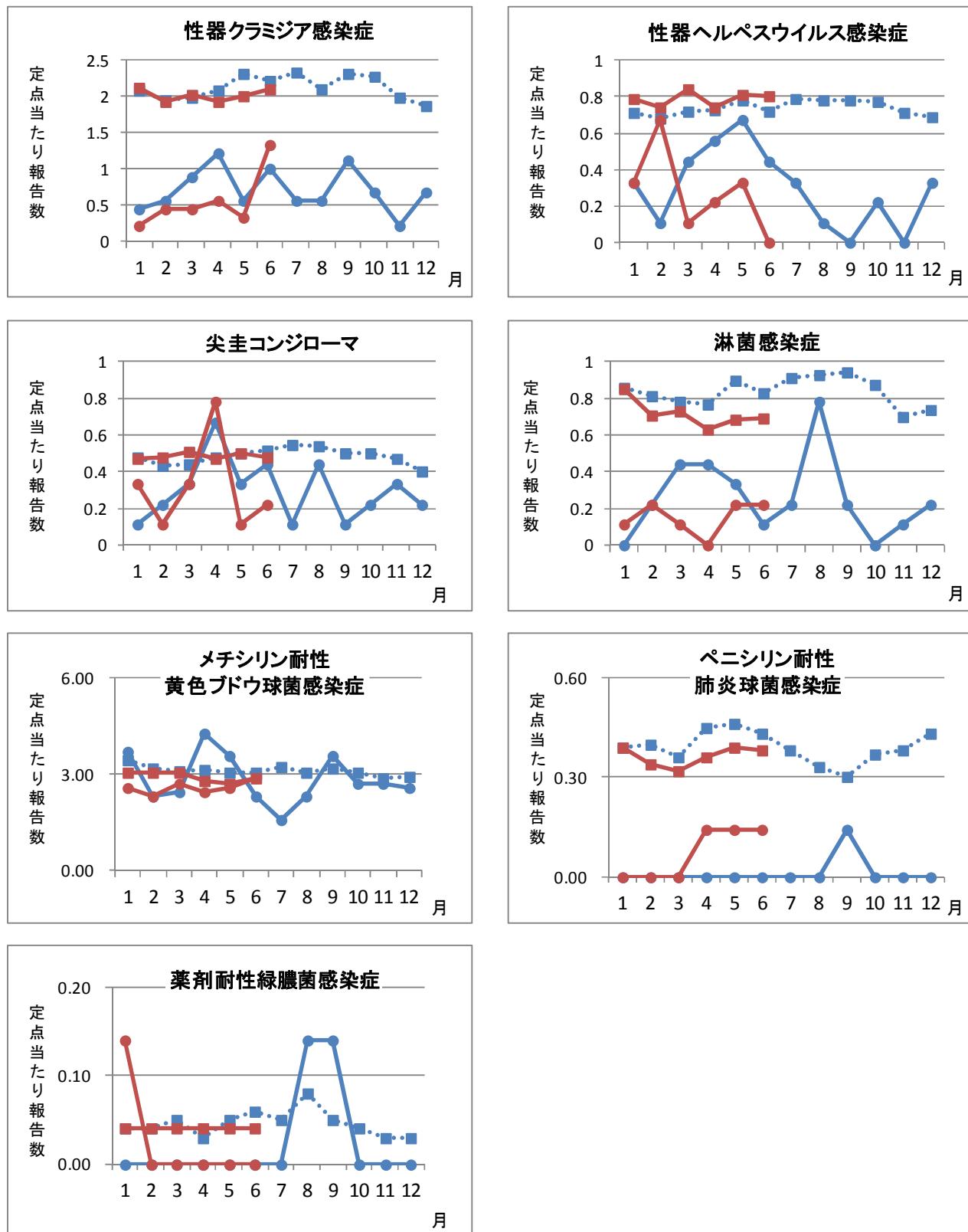
3. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症の保健所別定点あたり報告数(平成26年6月～平成27年6月)



4. 性感染症の性別・年齢別 定点報告数(平成 27 年 6 月)

5. 疾患別の定点当たり報告数の推移（全国・滋賀県）

平成26年 全国 平成26年 滋賀県
平成27年 全国 平成27年 滋賀県



病原体検出情報

発行年月日:平成 27 年(2015 年)7 月 23 日
発 行:滋賀県感染症情報センター
滋賀県衛生科学センター
電話:077-537-3051 FAX:077-537-5548
e-mail:eh4502@pref.shiga.lg.jp

平成 27 年(2015 年)6 月

滋賀県内における病原体の動向を把握するために、滋賀県感染症発生動向調査事業実施要綱に基づいて選定されている病原体定点病院などにおいて採取された検体について検査を実施し、採取月毎にウイルスの分離検出状況を表に集計しました。更新部分を **■** で着色して示しています。

1. 2015 年 6 月検出分の結果(下表)

- (1) 感染性胃腸炎(おう吐・下痢症等を含む)
 - ア ロタウイルスが 2015 年4月採取の検体から1株検出されました。
 - イ ライノウイルスが 2015 年3月採取の検体から1株、4月採取の検体から1株検出されました。
- (2) 上気道炎、下気道炎、咽頭炎、扁桃炎、気管支炎、肺炎等
 - ア ヒトメタニューモウイルスが 2015 年3月採取の検体から5株、4月採取の検体から6株検出されました。
 - イ ライノウイルスが 2015 年3月採取の検体から2株、4月採取の検体から 14 株検出されました。
 - ウ アデノウイルス5型が 2015 年3月採取の検体から1 株検出されました。
 - エ RS ウィルスが 2015 年4月採取の検体から1株検出されました。
- (3) 発疹
 - ア ライノウイルスが 2015 年4月採取の検体から3株検出されました。
 - イ アデノウイルス2型が 2015 年4月採取の検体から 1 株検出されました。
- (4) 手足口病
 - ア コクサッキーウィルス A 群 16 型が 2015 年4月採取の検体から1株検出されました。
- (5) 脳炎
 - ア ライノウイルスが 2015 年3月採取の検体から1株検出されました。
- (6) けいれん
 - ア ライノウイルスが 2015 年4月採取の検体から1株検出されました。
- (7) 不明熱
 - ア エコーウィルス 16 型が 2015 年4月採取の検体から6株検出されました。

2. 参考

- (1) ロタウイルス
 - ア 24~48 時間の潜伏期の後、突然のおう吐で発症し、続いて水様性の下痢と発熱を起こすウイルス。
 - イ 乳幼児(生後6ヶ月から2歳)の罹患率が高く、重度の脱水症に陥ることがある。
 - ウ 冬季(11 月~4 月)に多く発生する。
- (2) ライノウイルス
 - ア 鼻漏、鼻閉、くしゃみなどの風邪の病因ウイルス。
 - イ 一年を通じて検出されている。
- (3) ヒトメタニューモウイルス
 - ア 臨床症状は RS ウィルス感染症と同様に発熱、鼻汁、咳であるが、小児においては喘鳴を伴う気管支炎や肺炎を起こすこともあるウイルスである。
- (4) アデノウイルス
 - ア 軽いカゼ程度から重症の扁桃腺炎や肺炎、さらには結膜炎やおう吐下痢症などを引き起こすウイルス
 - イ 血清型によって症状が異なる。
- (5) RS ウィルス
 - ア 軽い風邪様の症状から重い肺炎まで様々な呼吸器症状を引き起こすウイルス。
 - イ 秋から冬にかけて多く検出されている。
- (6) エンテロウイルス(コクサッキーウィルス・エコーウィルス)
 - ア 非特異的な熱性疾患、発疹性疾患を起こすことが多いウイルス。
 - イ 疾患名として独立しているのはポリオ、手足口病、ヘルパンギーナ、急性出血性結膜炎などである。

表. 主症状・採取月別ウイルス検出状況（平成 27 年 6 月 30 日現在）

疾患名*	ウイルス型	検体種別	合計	検体採取月												
				平成26年											平成27年	
3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月			
皮膚疾患	紅斑	ライノウイルス	ぬぐい液	1			1									
		ライノウイルス	ぬぐい液	1										1		
	手足口病	エンテロウイルス71型	ぬぐい液	0												
		コクサッキーウィルスA群6型	ぬぐい液	2										2		
		コクサッキーウィルスA群16型	ぬぐい液	2								1				1
		エコーウイルス18型	ぬぐい液	1				1								
	ヘルパンギーナ	アデノウイルス2型	ぬぐい液	1				1								
		コクサッキーウィルスA群2型	ぬぐい液	2					1	1						
		コクサッキーウィルスA群2型	糞便	1					1							
		コクサッキーウィルスA群4型	ぬぐい液	3			3					1				
		エコーウイルス11型	ぬぐい液	1						1						
中枢神経系疾患	脳炎・脳症	ライノウイルス	ぬぐい液	3	1	1								1		
		ライノウイルス	糞便	1										1		
		コクサッキーウィルスA群4型	ぬぐい液	1				1								
		コクサッキーウィルスA群4型	糞便	1				1								
		コクサッキーウィルスB群4型	ぬぐい液	1										1		
		アデノウイルス3型	糞便	1		1										
		アデノウイルス4型	ぬぐい液	1					1							
		サボウイルス	糞便	0												
		A群ロタウイルスG1型	ぬぐい液	1		1										
		A群ロタウイルスG1型	髄液	1	1											
無菌性髄膜炎	けいれん	ライノウイルス	ぬぐい液	2			1	1								
		ライノウイルス	糞便	0												
		エコーウイルス3型	ぬぐい液	1					1							
		エコーウイルス3型	髄液	1					1							
		エコーウイルス11型	ぬぐい液	1						1						
		エコーウイルス11型	糞便	1						1						
		エコーウイルス11型	髄液	2						2						
		エコーウイルス11型	血清	1						1						
		エコーウイルス18型	髄液	1						1						
		エコーウイルス25型	糞便	1						1						
咽頭結膜熱	流行性角結膜炎(結膜炎等含む)	エコーウイルス30型	ぬぐい液	0												
		エコーウイルス30型	髄液	1					1							
		コクサッキーウィルスA群4型	ぬぐい液	1				1								
		コクサッキーウィルスA群4型	糞便	1				1								
		コクサッキーウィルスB群5型	髄液	1					1							
流行性角結膜炎(結膜炎等含む)	A群ロタウイルスG1型	ぬぐい液	1						1							
	ムンブスウイルス	髄液	1											1		
不明熱	その他	ライノウイルス	ぬぐい液	2										1	1	
		アデノウイルス2型	ぬぐい液	0												
		アデノウイルス2型	糞便	0												
		コクサッキーウィルスB群5型	ぬぐい液	1					1							
		コクサッキーウィルスB群5型	糞便	1					1							
		コクサッキーウィルスB群5型	髄液	1					1							
		アデノウイルス3型	ぬぐい液	5			1	1			1	2				
		アデノウイルス5型	ぬぐい液	1		1										
		エコーウイルス3型	ぬぐい液	0												
		ヘルペスウイルス1型	ぬぐい液	1										1		
不明熱	その他	RSウイルス	ぬぐい液	2							1	1				
		ライノウイルス	ぬぐい液	4	1	2									1	
		コクサッキーウィルスA群2型	糞便	2					2							
		エコーウイルス3型	ぬぐい液	1							1					
		エコーウイルス16型	ぬぐい液	3											3	
		エコーウイルス16型	糞便	3											3	
		エコーウイルス18型	ぬぐい液	2				1	1							
		エコーウイルス18型	糞便	2				1	1							
ヘルペス口内炎	その他	エコーウイルス18型	髄液	1				1								
		バレコウイルス	ぬぐい液	0												
		ノロウイルスGII	ぬぐい液	1										1		
		ライノウイルス	ぬぐい液	2						1					1	
RSウイルス	その他	RSウイルス	ぬぐい液	1										1		
		コクサッキーウィルスA群8型	糞便	0												

ぬぐい液: 鼻腔ぬぐい液または咽頭ぬぐい液

*: 診断名または臨床症状により分類しています。

ウイルス検査は遺伝子検査や細胞培養によるウイルス分離を行ったため、検査結果が出るまでに 2か月程度を要します。そのため、現時点で判明しているウイルスの分離検出状況を示しています。